

令和2年4月13日

医療機関の長 殿

茨城県医師会会長 諸岡 信裕

「新型コロナウイルス関連感染症：第30報」

新型コロナウイルス感染者の増加に関して

昨日の時点で、県内の新型コロナウイルス感染者は109人となり、連日増加傾向を示し、感染者の中には、教職員や医療関係者、消防署員などが含まれており、幅広い職種で、拡大傾向を示しています。

10日に、大井川知事は、記者会見を開き、新型コロナウイルス感染者のうち、無症状・軽症者の病院以外での受け入れを13日以降に始める方針を示しました。現時点では、公的・民間施設で4施設、約230室確保しており、他に約130室の協力申し出があるとの事です。今後、全県下を一元的に調整する入院調整本部が、広域的な入院や転院の調整を行う予定です。

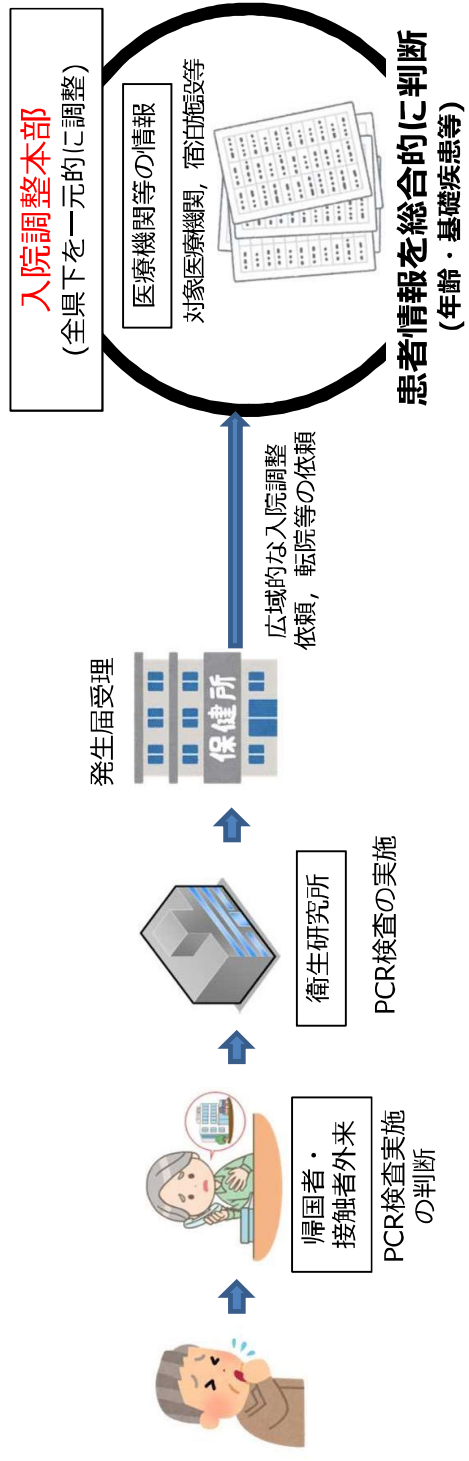
さらに、緊急事態宣言が発令された地域から帰省する事例や、感染した家族が自宅療養する際の注意点も公表しました。部屋を可能な限り別室とし全員マスク着用、リネン・食器などは患者専用、十分な換気、ケアする人は1人だけ、こまめに手洗い、テーブル・ドアノブ等の共用部分の消毒、等と呼び掛けました。(詳細は、茨城県ホームページをご覧ください。<https://www.pref.ibaraki.jp/1saigai/2019-ncov/documents/0410kaiken.pdf>)

病院以外の施設等にて療養する場合は、保健師や看護師が常駐し、健康フォローアップを行い、発熱等、感染症の増悪が疑われる場合には、医師に連絡して指示や医療機関への搬送を行います。

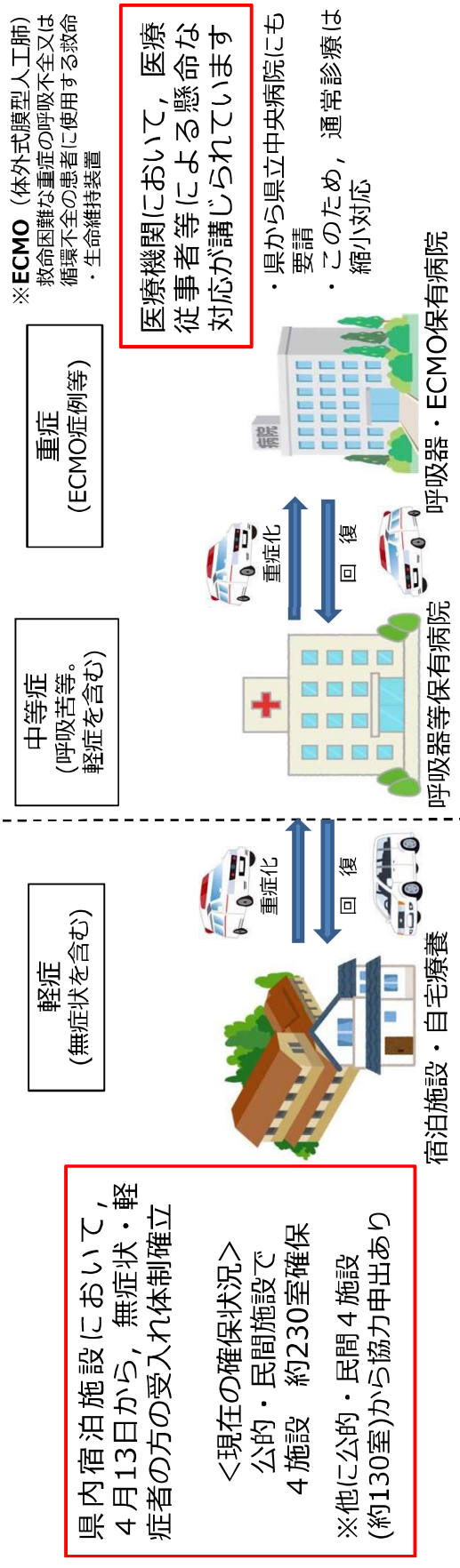
日本医師会からは、その時に際して「医学的な知見が必要となることから、地域医師会や医療機関への委託を検討する」との依頼がされており、地域の実情に応じた支援体制の構築に向けて、ご協力をお願い致します。

新型コロナウイルスの感染拡大に備えた医療提供・療養体制の整備について

県内では複数のクラスターが発生していますが、国のクラスター対策班の支援等を得ながら、いずれも調査・監視下にあります。感染症の拡大防止の一方で、皆様に安心していただけたらという、医療機関や宿泊施設等と連携し、感染者数増にも備えています。



患者・病院等との調整



県内宿泊施設において、4月13日から、無症状・軽症の方の受入れ体制確立

<現在の確保状況>
 公的・民間施設で4施設 約230室確保
 ※他に公的・民間4施設 (約130室)から協力申出あり

医療機関において、医療従事者等による懸命な対応が講じられています

- ・県から県立中央病院にも要請
- ・このため、通常診療は縮小対応

※ECMO (体外式膜型人工肺)
 救命困難な重症の呼吸不全又は循環不全の患者に使用する救命・生命維持装置

家族が新型コロナウイルスにかかったら？ ～自宅でできる感染予防対策～

ご家族の方で**新型コロナウイルスの感染が疑われる**、あるいは、**感染した方（患者）が自宅などで療養する際は**、家族の協力のもと、以下の点に留意してください。

居住環境

- ◇ 患者と同居する方の**部屋を可能な限り別**にして、できるだけ**全員がマスク**をする
- ◇ リネン（タオル、シーツなど）や食器、歯ブラシなどは**共用せず患者専用のものを用意**する
- ◇ 日中はできるだけ**換気**に心がける

療養する部屋

患者ができる限り最小限の移動で生活でき、換気ができる部屋を用意しましょう。



十分な換気をこころがける

療養している部屋はもちろん、トイレやふろ場、家族が使用する部屋も換気しましょう。



家族が新型コロナウイルスにかかったら？ ～自宅でできる感染予防対策～

同居者の感染管理

- ◇ できるだけ**患者のお世話をする人は1人に限定**する
- ◇ リネン（タオル、シーツなど）や食器、歯ブラシなどは**共用せず患者専用のものを用意**する
- ◇ 全員が**小まめに手洗い**をする
- ◇ **ゴミはまとめて密封**して捨てる

家族全員がマスク着用

手に付着したウイルスが口や鼻に直接接触することを防ぎ、接触感染を減らすことが期待されます。



ケアをする家族は1人に限定

患者のケアは健康な人が、十分な距離（1m以上）を保って行うようこころがけましょう。



石鹸と流水を使ってこまめな手洗い

患者だけでなく家族もこまめに手洗いやアルコール消毒をしましょう。



ごみは密閉して捨てる

鼻をかんだティッシュや使い捨て容器などは、感染防止のため、密閉して捨てましょう。



家族が新型コロナウイルスにかかったら？ ～自宅でできる感染予防対策～

清掃

- ◇ テーブルやドアノブなどの**共用する部分を消毒**する
- ◇ 汚れたリネン、衣類を洗濯して、**しっかりと乾燥**させる

消毒の徹底を

患者が移動する際に触るベッドサイドやテーブル、ドアノブなどや、共用するトイレや洗面所など触った可能性のある場所などは、家庭用除菌スプレーなどで一日一回以上、丁寧に消毒しましょう。

